

ごとう通信

第 185 号

平成 28 年 5 月 1 日

新緑まぶしい季節になってきましたね。熊本での震災には心を痛めてしまいますが、本当に平穏な毎日を祈るばかりです。

さて、ここのところ花見をしない年が続いています。まあ、花見などしなくても毎日飲んでるし…と本末転倒的な話ではなく、そもそもは外での食事が苦手なんです。アウトドア派の方たちの中にはバーベキューや飯ごう炊飯などお手の物！という人もいますでしょう。しかし、個人的には立って食べる、外で食べ



るなんてことがちょー苦手です。テラスでのんびりお茶をする程度なら大丈夫なのですが。要は不器用なので「ながら食べ」が出来ないんです。しゃべりながら

立って食べる立食パーティー、焼いたり、煮たりしながら食べる焼肉や鍋パーティーなども苦手です。どうも自分のペースにならなくて。割と楽しみの少ない人間なんです。

では以前、花見をしていた時はどうしていたのか。ただひたすら飲む。食べることもなく、花を見ることもなく…

熱気

先日、「かいこの学舎」という企画に参加してきました。僕は午後から

一時間弱しゃべるだけだったので、300人近い参加者で会場はものすごい熱気でした。この企画は朝から大学の講義のようにずっといろいろな分野の講師が講義をし、受講生の介護職の方が自分の聞きたい授業を選択するという形式で、最終講義が僕の話という1日がかりの企画でした。実際会場は大学でした。

個人的にはいろいろなところでお話する機会があるのですが、医療職とも違う、一般の方とも違う熱気に少し身震いしました。

もちろん僕は、介護の現場について少しは理解しているつもりですが、一般のニュースだけ見ると、「介護職が少ない」「つらいからすぐ辞める」「給料が安い」「ストレスがたまって事件を起こす奴もいる」などなど何一ついい話が出てきません。これも